



あ い さ つ

福島県スキー連盟会長 玉川 武

新しいスキーシーズンを迎えるにあたり、あいさつを申し上げます。

皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。日頃より福島県スキー連盟の事業活動にご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年は役員改選があり、長年役員として本連盟発展のためにご尽力いただいた方々が退任され、新しい役員の方々が選出されました。新たな組織で役員一致協力して、本連盟の目的達成のために努力してまいります。

総務関係では、シクミネットについては所属団体の皆様に説明会を開催してご理解いただく機会を設けてきました。また、本連盟のホームページを通して情報発信と共有に努めてまいりました。

競技関係では、「第74回福島県総合体育大会スキー競技会」は猪苗代スキー場と猪苗代町クロスカントリーコースで実施しました。会場を提供していただきました猪苗代スキー場・猪苗代町振興公社はじめ関係の皆様には御礼申し上げます。「美の国あきた国体」は新型コロナウイルス感染拡大のため、無観客で実施しました。残念ながら入賞種目はありませんでしたが、少年男子リレー9位と入賞まであと一歩でした。

教育関係では、「準指導員検定会並びにB・C検定員検定会」はグランディ羽鳥湖スキー場で行いました。スキー指導者研修会・スキー学校教師研修会・スキー技術選手権大会等も予定通り開催しました。ご協力いただきましたスキー場やスキー学校はじめ、関係の皆様には大変お世話になりました。

今年は少しずつですが、日常が戻ってきております。7月には3年ぶりに「第43回SAF公認ローラースキー猪苗代大会」を開催しました。今年度も感染予防対策に努めながら事業を推進してまいります。会員の皆様には各種事業推進にあたって、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

福島県スポーツ協会・東北索道協会福島地区部会・各スキー場をはじめ関係機関の皆様には、ご指導・ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

終わりになりますが、未だコロナ禍で大変な状況の中、本誌の発刊にあたり広告のご協賛をいただきました皆様、編集に当たられた委員長はじめ関係の方々に心より御礼申し上げ、あいさつといたします。